

愛媛県伊方町阿弥陀池で採集されたベンケイガニの記録

稲葉正和¹・水野晃秀²¹愛媛県総合教育センター ²愛媛県立宇和島水産高等学校

写真1 *Orisarma intermedium* ベンケイガニ
(EPERC-AR 021, ♂, 甲長 27.1mm, 甲幅 26.7mm)

種の記録

Sesarmidae ベンケイガニ科

Orisarma intermedium (De Haan, 1835)

ベンケイガニ(写真 1)

標本 愛媛県総合教育センター標本 (EPERC-AR) 020-023. 採集年月日: 2026 年 8 月 30 日. 採集場所: 愛媛県伊方町井野浦阿弥陀池 (33.3725N, 132.1066E). 3 個体♂1 個体♀, 甲長 23.7-27.1mm, 甲幅 23.5-26.7mm.

種の特徴

標本個体は、頭胸甲は四角形で、滑らかであること、眼窩外歯の後方には1つの明瞭な前側縁歯があり、前側縁歯の後方はややくびれること、鉗脚掌部は鈍い顆粒で覆われ、内面の顆粒列は隆起して稜をつくることなどの特徴が豊田ほか(2019)と一致した。

備考

本種は千葉県・秋田県から南西諸島にかけて分布し(豊田ほか, 2019), 愛媛県内では、燧灘, 斎灘, 重信川での記録があるが(愛媛県立博物館, 1990; 藤島ほか編, 1993), 近年の確認記録は宇和海南部沿岸域に限られている(大森, 2014; 高木, 2023). 今回生息が確認された地点は宇和海北部にあたる佐田岬半島先端に位置する. 本種が確認された場所は, 阿弥陀池から宇和海へとつながる用水路で, 周辺は雑木林や畑地であり, 水が枯れた用水路内に複数の巣穴が観察された. 小林(2020)では, 本種は8月以降10月頃まではほとんどのメスが抱卵するとあるが, 今回採

集された個体は抱卵していなかった. 佐田岬半島では, 1981 年から 1983 年にかけて総合調査が実施され, クロベンケイガニ *Orisarma dehaani* やアカテガニ *Chiromantes haematocheir* の生息が確認されているが, 本種の記録はない(井手上・井上, 1984). 伊方町(2016)には, 佐田岬半島に本種が生息していることが記載されているが, 詳細な形態等の記述はなく, 本報告は, 標本に基づく佐田岬半島からの明らかな生息確認記録となる. 本種は河口部の水質汚染や護岸道路建設による生息場所分断化により個体数が大幅に減少しており, 愛媛県では絶滅危惧 I 類(CR+EN)に指定されている(大森, 2014). 今後も継続的に調査を行い, 新産地の発見に努めるとともに, 生育環境の保全に努める必要がある。

引用文献

- 愛媛県立博物館. 1990. 愛媛の海岸動物. セキ株式会社, 松山. 66pp.
- 藤島弘純・井上 信・井手上光夫(編). 1993. 海辺の生きものたち. セキ株式会社, 松山. 143pp.
- 井手上光男・井上 信. 1984. 岩礁地帯の動物. 愛媛県高等学校教育研究会理科部会生物部門(編), 佐田岬半島の生物, 58-61.
- 伊方町. 2016. 伊方町環境基本計画(<https://www.town.ikata.chime.jp/uploaded/attachment/3408.pdf>, 2026 年 9 月 10 日参照)
- 小林 哲. 2000. 河川環境におけるカニ類の分布様式と生態-生態系における役割と現状-. 応用生態工学, 3(1): 113-130.
- 大森浩二. 2014. ベンケイガニ. 愛媛県レッドデータブック改訂委員会(編), 愛媛県レッドデータブック 2014. 愛媛県県民環境部環境局自然保護課, 松山. 285.
- 高木基裕. 2023. 愛媛県愛南町で得られたベンケイガニ. 南予生物フィールドノート, 23019.
- 豊田幸詞・関慎太郎・駒井智幸. 2019. 日本産淡水性・汽水性エビ・カニ図鑑. 緑書房, 東京. 339pp.
- (2026 年 9 月 9 日受付, 2026 年 9 月 12 日公開)

連絡先: 稲葉正和(e-mail: inaba.masakazu111@gmail.com)
(Masakazu Inaba and Kouki Mizuno. 2026. Records of *Orisarma intermedium* (Sesarmidae) from Amidaike Pond, Ikata Town, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 26023)